

HDアナログディスクレコーダー

品番 WJ-HL316

●取扱説明書の構成について

・設置編（本書）：

必要な機器との接続や設置のしかた、簡単な設定方法について説明しています。

・基本編：

商品概要やご使用上の注意、各部の名称や仕様について説明しています。

PDFファイル形式で以下のパナソニックサポートウェブサイトに掲載しています。

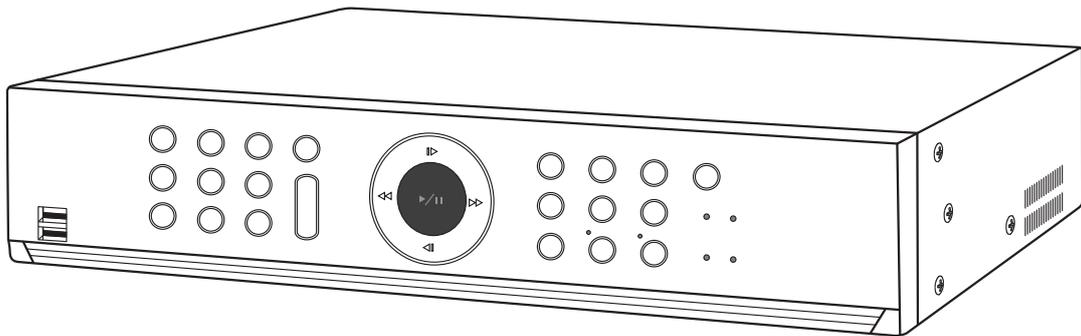
・操作・設定編：

本機を使用するにあたっての詳細な設定、および操作方法について説明しています。

PDFファイル形式で以下のパナソニックサポートウェブサイトに掲載しています。

パナソニックサポートウェブサイト

https://sol.panasonic.biz/security/support/manual_dl_j.html



HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（4ページ～5ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

ご注意	安全上のご注意 4
はじめに	はじめに 6 商品概要 6 特長 6 付属品をご確認ください 6 取扱説明書について 7 インターネット経由で本機をご使用の場合 7 オープンソースソフトウェアについて 7 AVC Patent Portfolio Licenseについて 7 設置上のお願い 8 設定画面の操作方法 10
運用の流れ	運用までの流れ 11
設置	①ラックへ取り付ける 12 ②接続する 13 カメラ、マイクを接続する 13 モニター、スピーカーを接続する 14 PC、マウスを接続する 15 アラーム入力/出力、その他を接続する 16
起動	③起動する 18 電源を入れる 18 (電源を切るときは) 19
簡単設定	④必要最小限の設定を行う [簡単設定] 20 簡単設定 (日付時刻・録画・ネットワーク) について 20
その他	故障かな!? 25 保証とアフターサービス 28

ウェブサイトに掲載の取説の内容について

取扱説明書 基本編

以下の項目については、パナソニックサポートウェブサイト掲載の取扱説明書 基本編（PDFファイル）をお読みください。

はじめに	<ul style="list-style-type: none">・商品概要・必要なPCの環境・商標および登録商標について・著作権について・免責について・ネットワークに関するお願い・個人情報の保護について
ご注意	<ul style="list-style-type: none">・使用上のお願い
各部の名称	<ul style="list-style-type: none">・各部の名前とはたらき
その他	<ul style="list-style-type: none">・故障かな!?・仕様

取扱説明書 操作・設定編

以下の項目については、パナソニックサポートウェブサイト掲載の取扱説明書 操作・設定編（PDFファイル）をお読みください。

本体設定	<ul style="list-style-type: none">・本体設定について・システム設定を行う・録画設定を行う・イベント設定を行う・カメラ設定を行う・装置の設定を行う・ネットワークの設定を行う・通知の設定を行う・表示の設定を行う・メニュー項目一覧・設定項目一覧
本体操作	<ul style="list-style-type: none">・ライブ監視について・録画と録音について・再生について・検索について・ブックマーク・クリップコピー
ネットワーク設定	<ul style="list-style-type: none">・ネットワーク設定を行う
ブラウザー操作	<ul style="list-style-type: none">・ウェブ監視ページ・ウェブ検索ページ
その他	<ul style="list-style-type: none">・追補・故障かな!?

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



■ 工事は販売店に依頼する

(工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。)
⇒必ず販売店に依頼してください。

■ 異常があるときは、すぐ使用をやめる

(煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。)
⇒放置せずに直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

■ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる

(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。)
⇒電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。)
⇒傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く

(コードが傷つき火災や感電の原因となります。)



禁止

■ 異物を入れない

(水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。)
⇒直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

■ 不安定な場所に置かない

(落下や転倒によるけがや事故の原因となります。)

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど
(傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。)
⇒コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

(たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。)

■ 電源を入れたまま工事、配線をしない

(火災や感電の原因となります。)

警告

 禁止	■ 振動や強い衝撃を与えない (火災や感電の原因となります。)
	■ 湿気やほこりの多い場所に設置しない (火災や感電の原因となります。)
 分解禁止	■ 分解しない、改造しない (火災や感電の原因となります。) ⇒修理や点検は、販売店に依頼してください。
 水ぬれ禁止	■ 機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない (水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。) ⇒直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
 接触禁止	■ 雷が鳴りだしたら、本機や電源コード、接続したケーブルに触れない(工事時を含む) (感電の原因となります。)
 ぬれ手禁止	■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない (感電の原因となります。)

注意

	■ リチウム電池は同一型名または同等品と交換する (異なる型の電池を使用すると、発熱、破裂、発火の原因となります。) ⇒交換は必ず販売店に依頼してください。
 禁止	■ 通風孔をふさがない (内部に熱がこもり、火災の原因となります。)

はじめに

商品概要

WJ-HL316（以下、本機）は最大16台の弊社製HDアナログカメラ／アナログカメラ（以下、カメラ）の映像をハードディスク（以下、HDD）に記録することができるHDアナログディスクレコーダーです。

本機は HDMI（High-Definition Multimedia Interface）に対応しているモニターを接続することができ、録画映像やカメラのライブ映像をより高品質で表示することができます。また、複数のカメラの映像をモニターに表示したり、カメラ映像を切り換えたりすることができます。

特長

フルHD高画質録画

カメラの映像を同軸ケーブルを使用し、フルHDの高画質で録画できます。

H.264 リアルタイム記録

動画圧縮方式：H.264に対応し、各カメラ最大30 ipsの高フレームレート記録を実現しています。

マウスを使った簡単操作

本機にマウス（市販品）を接続することにより、モニター画面を見ながら簡単に操作できます。

豊富な録画機能

指定した曜日や時間帯に録画を行うスケジュール録画、センサーからの信号入力などイベント発生時に録画モード（画質や録画レート）を切り換えて録画を行うイベント録画機能、緊急録画ボタンによる一斉録画など、多彩な録画運用ができます。

検索／再生機能

カレンダーやタイムラインを使った検索やイベント検索など、録画画像を簡単に検索し再生することができます。

録画データの取り出し

録画された画像をUSBメモリー^{*1}（市販品）にコピーすることができます。コピーした画像はパーソナルコンピューター（以下、PC）で再生することができます。

※1 FAT32形式でフォーマットされたUSBメモリーを使用してください。

ネットワーク機能

PCのウェブブラウザ^{*2}上にネットワークを通じてライブ映像の表示や録画映像の再生が可能です。

※2 Internet Explorer 11 32ビット日本語版

付属品をご確認ください

取扱説明書 設置編（本書）.....	1冊	保証書.....	1式
簡単操作ガイド.....	1冊	電源コード.....	1本

はじめに（つづき）

取扱説明書について

取扱説明書は、取扱説明書 設置編（本書）、取扱説明書 基本編、取扱説明書 操作・設定編、簡単操作ガイドで構成されています。

- 取扱説明書 設置編（紙取説） : 必要な機器との接続や設置のしかた、簡単な設定方法について説明しています。
- 取扱説明書 基本編（PDF取説） : 商品概要やご使用上の注意、各部の名称や仕様について説明しています。
以下のパナソニックサポートウェブサイトを参照してください。
https://sol.panasonic.biz/security/support/manual_dl_j.html
- 取扱説明書 操作・設定編（PDF取説） : 本機を使用するにあたっての詳細な設定、および操作方法について説明しています。
以下のパナソニックサポートウェブサイトを参照してください。
https://sol.panasonic.biz/security/support/manual_dl_j.html
- 簡単操作ガイド（紙チラシ） : 本機の基本的な操作について説明しています。

メモ

- 製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

インターネット経由で本機をご使用の場合

第三者による意図しないアクセスを防止するため、

- ユーザー認証の設定は「On」のままご使用ください。
- 本機にアクセスするためのパスワードは定期的に変更してください。
変更方法は取扱説明書 操作・設定編（パナソニックサポートウェブサイト内のPDFファイル）を参照してください。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
- お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変できます。
- オープンソースソフトウェアのライセンスやソースコードに関する詳細は、本製品の設定メニューの [システム] - [製品情報] タブをお読みください。
- なお、ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- 画像情報をAVC規格に準拠して（以下、AVCビデオ）記録すること。
- 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。

詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ（<http://www.mpegla.com>）をご参照ください。

設置上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。
本機は屋内専用です。

以下の場所には設置しないでください

- 直射日光の当たる場所
- 振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- スピーカーや大きい音を発する装置など、音圧による振動を発生するものの近く
- 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
- ちゅう房など蒸気や油分の多い場所
- 傾斜のある場所
- ほこりがたまりやすい場所
- 水滴や水しぶきがかかる場所

本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください

本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります

ゴム製品による硫化について

硫黄を含むゴム製品（パッキンやゴム足など）を本機の近傍や同じ収納ボックス内に設置しないでください。ゴム製品からの硫黄成分により、電気部品や端子などが硫化腐食し、不具合を発生するおそれがあります。

VCCIについて

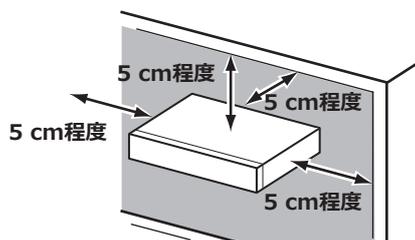
この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

インターネットへの接続について

本機は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続することができません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

横置き（水平）に設置してください

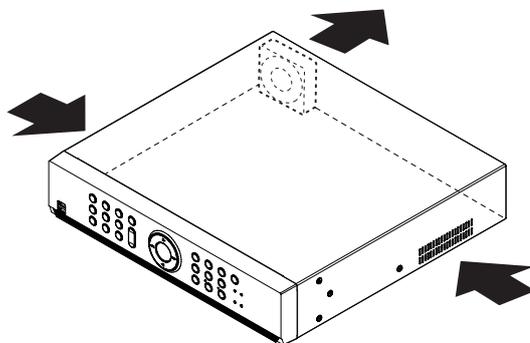
縦置きや傾けて設置しないでください。また、本機の周囲に5 cm程度の空間を確保してください。



放熱について

内部に熱がこもると、故障の原因となりますので、次のことに注意してください。

- 放熱ファンの吹き出し口近くや通風孔を壁やラック、布などでふさがらないでください。ほこりなどで通風孔がふさがれないように、定期的にお手入れしてください。
- 放熱ファンは消耗品です。約30000時間を目安に交換してください。交換は販売店（設置工事店）に依頼してください。
- 左右両側面にある通風孔から空気を吸い込み、内部のHDDを冷却していますので、この通風孔をふさがらないでください。



雑音源は避けてください

電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、画像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本機の位置を変えてください。

はじめに (つづき)

アース (接地) について

電源プラグは、保護接地接続をもつ主電源コンセントに接続してください。

使用電源

AC100 V 50 Hz/60 Hzです。消費電力の大きな機器 (コピー機、空調機器など) と同じコンセントから電源をとらないでください。また、水滴や水しぶきのかからない場所で使用してください。

※付属の電源コードは本機専用です。他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

電源コードの取り付けかた

電源コードは、必ず遮断装置を経由した次のいずれかの方法で接続してください。

- 電源制御ユニットを経由して接続する。
- 容易にアクセス可能な電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを経由して接続する。
- 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

電源について

本機には電源スイッチがありません。本機を電源から遮断するときは電源コードを抜いてください。ACコンセントは本機の近傍に設置し、容易に電源プラグを抜き差しできるようにしてください。設置条件により容易に電源コードを外せないときは、本機の電源コードを遮断能力のある分電盤のサーキットブレーカーを経由したACコンセントに接続してください。

内蔵バックアップ電池

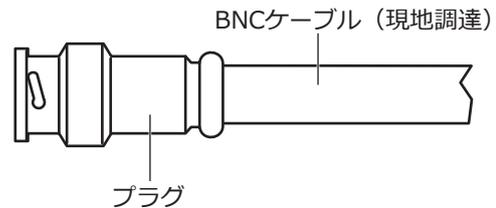
内蔵バックアップ電池は、日光、火などの過度の熱にさらされることのないようにしてください。

BNCケーブル接続

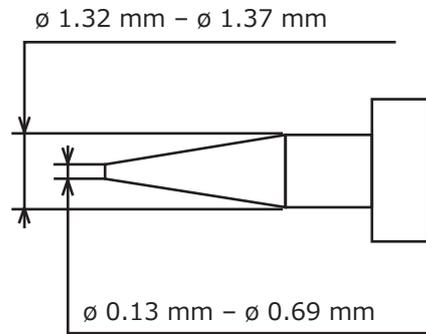
本機後面の映像出力端子にBNCケーブル (現地調達) でスポットモニターを接続する場合、BNCプラグは規格適合品を使用してください。

適合プラグ JIS : C5412

※規格番号末尾は改定されている場合があります。



※推奨適合プラグのピン形状



重要

- 適合品以外のプラグを使用した場合、接触不良などの不具合が発生する可能性があります。また、本機側のコネクタを破損するおそれがあります。

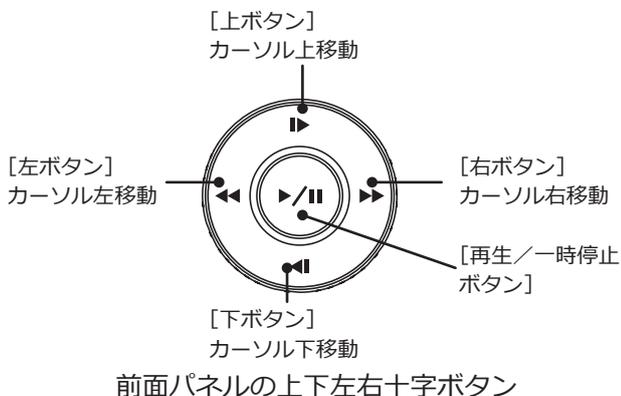
設定画面の操作方法

本機の画面操作は、前面パネルの上下左右十字ボタン（以下、十字ボタン）を使って操作する方法と、本機に接続したマウスを使って操作する方法の2通りの方法があります。

前面パネルからの操作

本書で、「～ボタンを押します」「～ボックスを選択します」と表記されている場合は、

- ①前面パネルの十字ボタンを押してカーソル（強調表示）を移動します。
- ②十字ボタン中央の「再生／一時停止」ボタンを押して選択や入力を確定します。



マウスからの操作

本書で、「～ボタンを押します」「～を選択します」と表記されている場合は、

- ①マウスカーソルを選択したい位置に合わせます。
- ②左クリックして選択や入力を確定します。

ソフトウェアキーボードの操作について

設定項目の文字入力はソフトウェアキーボード（以下、ソフトキーボード）で行います。各設定画面にある入力欄右の  アイコンなどを選択すると、ソフトキーボードが表示されます。画面上の文字キーを選択することで文字を入力できます。



ソフトキーボード（英数字レイアウト）



ソフトキーボード（かなレイアウト）

[↑]

ボタンを押すと、英数字の大文字と小文字、またはかなとカタカナが切り換わります。

[←]

ボタンを押すと、直前の文字を削除します。

[X]

ボタンを押すと、カーソル位置の文字を削除します。

[

ボタンを押すと、キーボードレイアウト表示が切り換わります。

[決定]

ボタンを押すと、入力を確定しソフトキーボードを終了します。

[キャンセル]

ボタンを押すと、入力を確定せずにソフトキーボードを終了します。

メモ

- 文字入力欄にはスペースを含めて最大63文字まで入力できます。（かな、カタカナ文字の場合は最大31文字まで）

設定画面について

設定画面の左下に「」が表示されている場合、「」を選択すると表示されている画面を初期設定に戻すことができます。

設定を終えるときに「保存」を選択すると、変更を保存して終了します。変更を保存したくない場合は、「キャンセル」を選択して終了します。

運用までの流れ

- 設定にはメインモニターが必要です。スポットモニターに設定メニューは表示できません。
※PCのウェブブラウザからも設定できます。(一部設定できない項目もあります。詳しくは取扱説明書 操作・設定編 (PDF取説、ウェブ掲載) をお読みください)
- 取扱説明書 基本編や操作・設定編 (PDFファイル) を読むためにはPCが必要です。

1

ラックへ取り付ける
👉 12 ページ

本機をラックへ取り付けます。
ラックに取り付けない場合は、2へ進みます。

2

接続する
👉 13ページ

本機にカメラやモニターなどを接続します。

3

起動する
👉 18ページ

以下の順で電源を入れ、起動します。
①カメラ、モニターの電源を入れる。
②本機の電源を入れる。

4

必要最小限の設定を行う [簡単設定]
👉 20ページ

「簡単設定」で日付と時刻、録画品質、ネットワークの設定を行います。設定を初期設定から変える必要がなければ、運用を開始できます。

設定
👉 取扱説明書 操作・設定編
(パナソニックサポートウェブ
サイト内の PDF ファイル)

必要に応じて各機能の詳細設定をします。

5

運用開始

メインモニターにカメラ映像が表示され、本機で録画・再生できれば、運用を開始できます。

1 ラックへ取り付ける

本機を取り付けるラックは、EIA規格相当品をご使用ください。

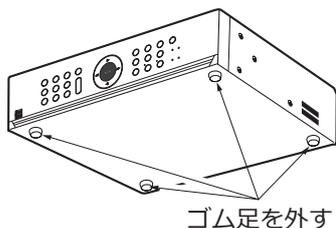
- EIA規格相当品（他社製）：EIA19型、奥行き550 mm以上のもの

メモ

- 他社製ラックに取り付ける場合は、ラック取付ねじ（YBSNG003：別売品）またはM5×12ねじ（4本）が必要です。
- 本ページのイラストは、形状の詳細を省略しています。

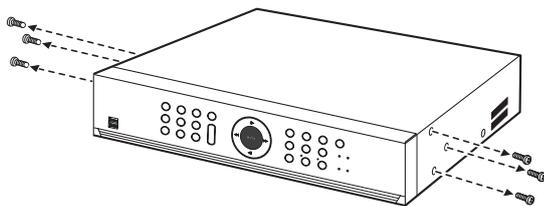
STEP1

底面のゴム足（4個）を外します。



STEP2

本機の両側面から上カバー取付ねじ6本を外します。



STEP3

本機の両側面に、ラックマウント金具YBSKG033（別売品）を取り付けます。

→STEP 2で外した上カバー取付ねじ6本で確実に固定します。

- ねじ締付トルク：
0.88 N·m ~ 1.08 N·m (9.0 kgf·cm ~ 11.0 kgf·cm)

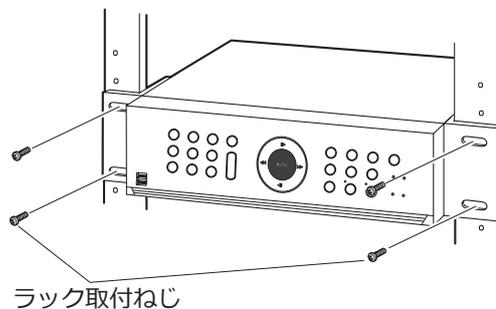


STEP4

本機をラックに取り付けます。

→ラック取付ねじ（4本）で確実に固定します。

- ねじ締付トルク：
2.0 N·m ~ 2.4 N·m (20.5 kgf·cm ~ 24.5 kgf·cm)



ラック取付ねじ

YBSNG003（別売品）、またはM5×12（現地調達）

重要

- 本機の使用温度範囲は+5℃ ~ +40℃です。
※HDDは温度が高くなると特性劣化し寿命に影響を与えます。+25℃程度でのご使用をお勧めします。
- 使用温度範囲内でご使用いただくために、ラック設置時は以下の対策を行ってください。
 - ・ファンなどを取り付けてラック内温度を下げる。
 - ・本機の下上に1U (44 mm) 以上の間隔をあける。
 - ・ラック前面に扉をつけない、四方をふさがない。

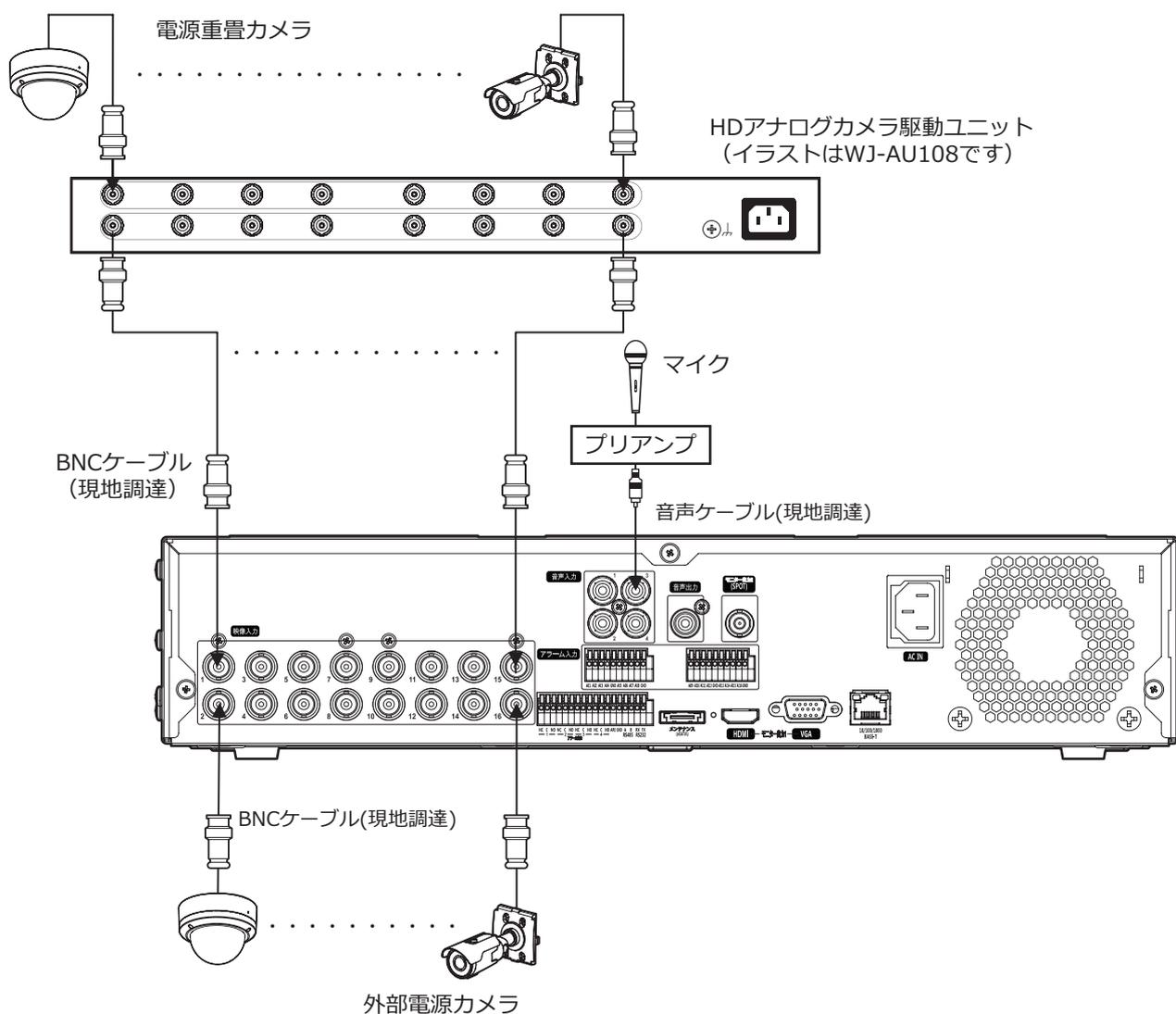
2 接続する

カメラ、マイクを接続する

最大16台のカメラを後面パネルの映像入力1～16端子（BNC）に接続します。

電源重畳タイプのHDアナログカメラはHDアナログカメラ駆動ユニットWV-AU108（別売品）あるいはWV-AU104（別売品）を使用して映像入力端子に接続します。外部電源タイプのHDアナログカメラは直接映像入力端子に接続します。

最大4台のマイクをプリアンプ経由で音声入力1～4端子（ピンジャック）に接続します。

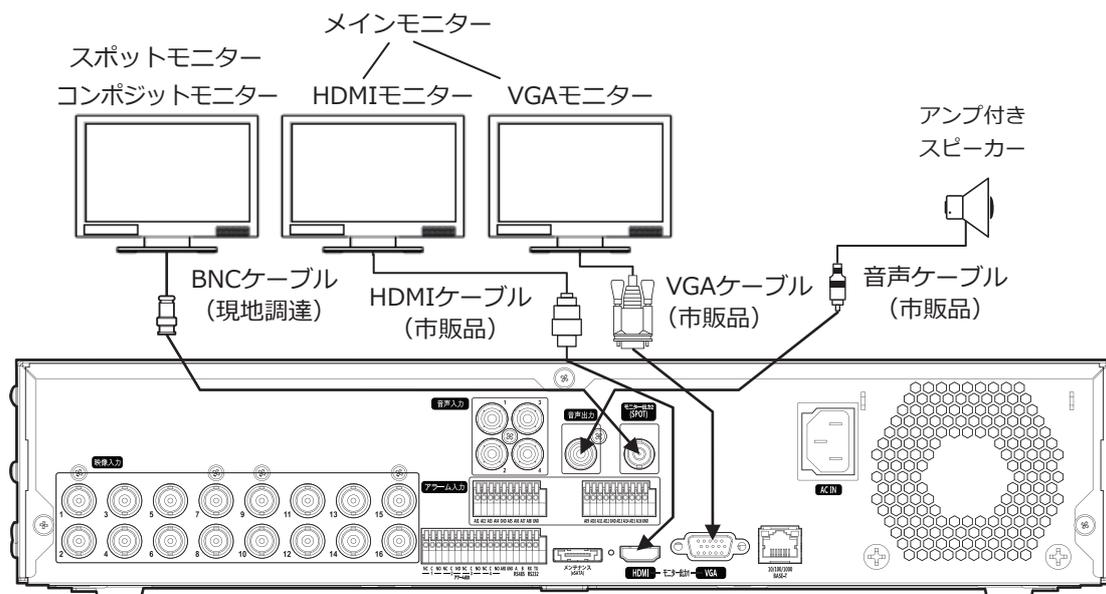


メモ

- 弊社製の既存のカメラを接続すると、本機の設定メニューの[カメラ]-[基本]-[タイプ]で該当カメラが「SD」に自動設定されます。
- カメラからの音声をBNCケーブル経由で録音する機能はありません。

モニター、スピーカーを接続する

メインモニターとしてHDMIモニターをHDMIケーブル（市販品）で[HDMI]端子に接続します。VGAモニターをVGAケーブル（市販品）で[VGA]端子に接続することもできます。必要に応じて、スポットモニターとしてコンポジットモニターをBNCケーブル（現地調達）で[SPOT]端子（BNC）に接続します。音声を出力する場合はアンプ付きスピーカーを音声出力端子（ピンジャック）に接続します。



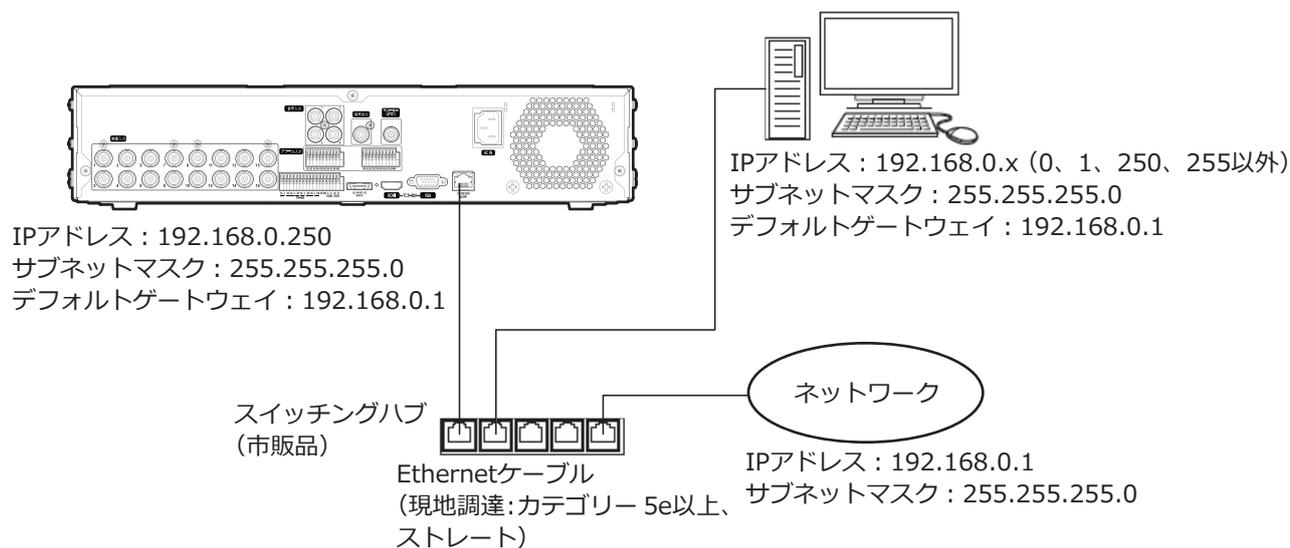
メモ

- HDMIケーブルは「ハイスピードHDMI[®]ケーブル」を使用してください。また、メインモニターを4K/30Pで使用する場合、HDMIケーブルは10.2 Gbps対応のものを使用してください。
- 画質の劣化防止や安定した動作のため、HDMIケーブルは5 m以下のものを使用してください。
- HDMIケーブルで接続したメインモニターからは音声を出力することができます。
- 音声ケーブルで接続したスピーカーからもメインモニターと同じ音声を出力します。

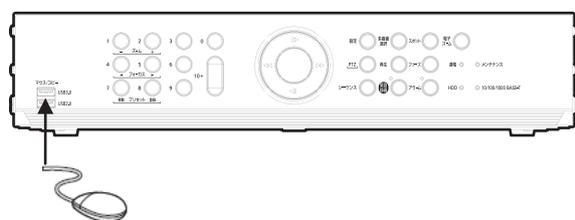
☑接続する（つづき）

PC、マウスを接続する

PCをスイッチングハブ（市販品）経由で本機後面のネットワークポートに接続します。



USBマウス（市販品）を本機前面のマウス/コピーポートに接続します。



マウス（市販品）
前面のマウス/コピーポートに接続

メモ

- マウスは [マウス/コピーポート] の上下どちらにも接続できます。

☑接続する（つづき）

アラーム入力／出力、その他を接続する

後面のアラーム入力／出力端子は、センサーなどのアラーム信号を出力する装置をアラーム入力端子に接続するときや、ブザー、ランプなどの警報装置をアラーム出力端子に接続するとき 사용합니다。

アラーム入力／出力端子は、被覆をむいたケーブルを直接挿入します。

※ケーブルは、AWG26 ~ 16、むき線長さ9 mmの単線、または撚線を使用してください。

ケーブルの接続の仕方

①後面のアラーム入力／出力端子のボタンを押しながら、ボタン下の穴に被覆をむいたケーブルを挿入します。

②ボタンを離した後、ケーブルをやさしく引き、確実に接続されていることを確認します。

※ケーブルを取り外すには、ボタンを押しながら、ケーブルを引き抜きます。

重要

- 1つの端子に2本以上のケーブルを接続しないでください。2本以上接続する場合は、ケーブルをあらかじめ1本にまとめる加工をして、端子には1本で接続してください。

端子記号	端子名称	動作内容	備考
AI1	アラーム入力1	センサーの接点出力などからのアラーム入力により、設定に従ったイベント動作を行います。 センサーの出力を [AI] および [GND] に接続します。 アラーム入力のタイプは、N.C. (常時閉) とN.O. (常時開) が設定メニューの [イベント] - [アラーム入力] タブで選択できます。	・ N.C. (常時閉) 設定時に対する電圧のしきい値は2.4 V以上、N.O. (常時開) に対する電圧のしきい値は0.3 V以下です。 ・ 入力電圧範囲はDC 0 VからDC 5 Vです。 ・ 検知時間は0.5秒以上必要です。
AI2	アラーム入力2		
AI3	アラーム入力3		
AI4	アラーム入力4		
GND	シグナルグランド		GND端子は全て共通です。
AI5	アラーム入力5	上記アラーム入力 1 ~ 4 と同じ動作です。	上記アラーム入力 1 ~ 4 と同じ条件です。
AI6	アラーム入力6		
AI7	アラーム入力7		
AI8	アラーム入力8		
GND	シグナルグランド		GND端子は全て共通です。

端子記号	端子名称	動作内容	備考
AI9	アラーム入力9	上記アラーム入力 1 ~ 4 と同じ動作です。	上記アラーム入力 1 ~ 4 と同じ条件です。
AI10	アラーム入力10		
AI11	アラーム入力11		
AI12	アラーム入力12		
GND	シグナルグランド		GND端子は全て共通です。
AI13	アラーム入力13	上記アラーム入力 1 ~ 4 と同じ動作です。	上記アラーム入力 1 ~ 4 と同じ条件です。
AI14	アラーム入力14		
AI15	アラーム入力15		
AI16	アラーム入力16		
GND	シグナルグランド		GND端子は全て共通です。

2 接続する (つづき)

端子記号	端子名称	動作内容	備考	
アラーム出力	1	NC アラーム出力1 N.C. (常時閉)	イベント発生時にアラーム接点出力を制御し、外部に接続したブザーやランプなどの警報装置を起動します。 警報装置などを [C] と [NC] または、[C] と [NO] に接続します。	[NC] および [NO] はAC 125 V 2 AあるいはDC 30 V 1 Aのシンク電流を持つリレー出力です。
		C コモン1		
		NO アラーム出力1 N.O. (常時開)		
	2	NC アラーム出力2 N.C. (常時閉)		
		C コモン2		
		NO アラーム出力2 N.O. (常時開)		
	3	NC アラーム出力3 N.C. (常時閉)		
		C コモン3		
		NO アラーム出力3 N.O. (常時開)		
	4	NC アラーム出力4 N.C. (常時閉)		
		C コモン4		
		NO アラーム出力4 N.O. (常時開)		
ARI	アラームリセット 入力 (常時開)	アラームのリセットを行います。	<ul style="list-style-type: none"> 電圧のしきい値は0.3 V以下です。 検知時間は0.5秒以上必要です。 	
GND	シグナルグランド		GND端子は全て共通です。	
RS 485	A	RS485 (+)	弊社製RS485制御のカメラを接続します。 また、RS485インターフェースを備えた無停電電源装置 (以下、UPS)、電波時計を接続します。	各機器の接続については以下のパナソニックサポートウェブサイトを参照してください。 https://sol.panasonic.biz/security/support/info_anlg.html
	B	RS485 (-)		
RS 232	RX	RS232C受信	RS232Cインターフェースを備えたUPS、電波時計を接続します。	
	TX	RS232C送信		

3 起動する

電源を入れる

本機の電源を入れます。あらかじめ、カメラおよびメインモニターの電源を入れておきます。

メモ

- カメラの電源が入っていないと、ビデオロスアラームが発生し、ブザーが鳴ります。ブザーを止めるには、ログイン後、前面パネルの[アラーム] ボタンを押します。

STEP1

本機の後面パネルの電源端子に付属の電源コードを接続し、電源プラグを電源コンセント（AC100 V 50 Hz / 60 Hz）に差し込みます。

→本機前面の[通電]ランプが点灯し、システムチェックが開始され、メインモニターに起動中画面が表示されます。

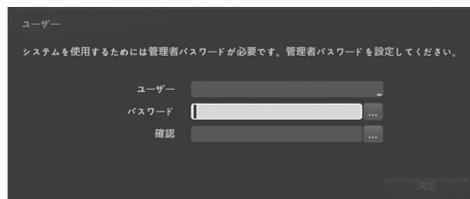
重要

- 起動中画面が表示中は絶対に電源を切らないでください。
- 必ずAC100 V 50 Hz / 60 Hzの電源を使用してください。
- 電源コードは、緩んだり抜けたりしないよう、電源端子の奥まで確実に差し込んでください。

STEP2

ユーザー、パスワードを登録します。

初回起動時は、ソフトキーボード（☞10ページ）からユーザー、パスワード、パスワード（確認）を入力し、[決定] ボタンを押して登録します。



メモ

- ユーザー名は半角英数字と記号で1文字以上15文字以内で設定してください。
- パスワードは半角英数字と記号で8文字以上15文字以内で設定してください。また、英字（大文字）、英字（小文字）、数字、記号のうち3種類以上を使用し、ユーザー名がパスワードに含まれないようにしてください。入力された文字はアスタリスクで表示されます。

STEP3

ユーザー、パスワードを入力してログインします。



ソフトキーボードからユーザー、パスワードを入力し、決定ボタンを押します。

重要

- 第三者による意図しないアクセスを防止するため、パスワードは定期的に変更してください。

管理者名、パスワードの保管についてのお願い

設定した管理者名、パスワードが分からなくなった場合、レコーダーの初期化*が必要です。レコーダーを初期化するとすべての設定が消去されますので、管理者名、パスワードは第三者の目に触れないように大切に保管してください。

* 初期化の方法については、販売店（設置工事店）にお問合せください。（サービスマン対応となります）

メモ

- ログアウトするときは、前面パネルの[設定] ボタンを押すか、またはマウスカーソルを画面右端に移動して表示されるライブ監視メニューで **6** を選択します。ログアウト確認画面が表示されたら、[ログアウト] ボタンを押します。

3 起動する（つづき）

STEP4

ログインが完了したら、必要最小限の初期設定を行います。

→「必要最小限の設定を行う」（☞20ページ）をお読みください。

（電源を切るときは）

次の手順で電源を切ってください。

STEP1

設定メニュー [システム] - [基本] タブ - [システム終了] ボタンを選択します。

STEP2

「システムが安全に終了されました 電源プラグを引抜いて下さい」が表示されたら、電源プラグを電源コンセントから抜きます。

→本機前面の [通電] ランプが消灯します。

重要

- 長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

4 必要最小限の設定を行う [簡単設定]

簡単設定（日付時刻・録画・ネットワーク）について

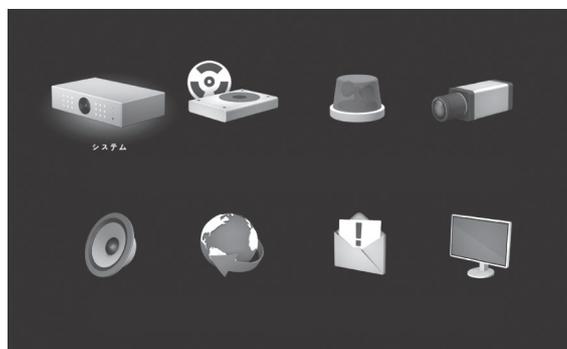
設定メニュー [システム] - [基本] - [簡単設定（日付時刻・録画・ネットワーク）] では、日付設定や録画、ネットワークの設定など、本機を使用するための基本的な設定を行います。

まず、簡単設定を行い、さらに詳細な設定を行いたい場合は、各設定メニューで設定を行います。

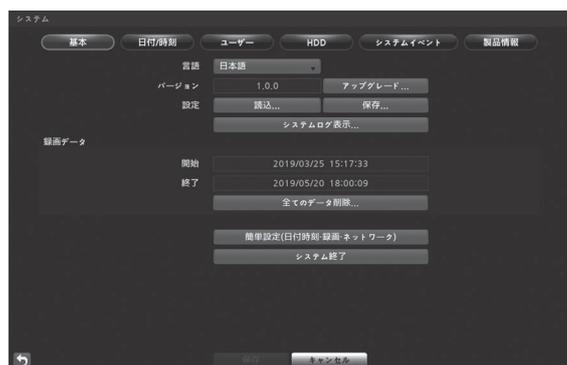
STEP1

ログイン後、前面パネルの [設定] ボタンを押すか、またはマウスで画面右側のライブ監視メニューの [設定] を選択します。

→設定メニュー画面が表示されます。



設定メニューの [システム] を選択し、[基本] タブの [簡単設定（日付時刻・録画・ネットワーク）] ボタンを選択します。



STEP2

[らくらく日付時刻・録画設定] を選択します。



[次へ] ボタンを押します。



[らくらく日付時刻・録画設定] では、日付時刻と録画に関する設定を行います。

[次へ] ボタンを押します。

重要

- [らくらく日付時刻・録画設定] の録画設定は、[録画] メニューの [スケジュール] タブの [簡単モード] として設定されます。[詳細モード] で登録されている場合は、[簡単モード] に切り換わるので、ご注意ください。

4 必要最小限の設定を行う [簡単設定] (つづき)

STEP3

日付と時刻を設定します。



[日付]

現在の日付を設定します。前面パネルの左右ボタンまたはマウスで年⇄月⇄日を選択し、▲▼ボタンで数値を変更します。

[時間]

現在の時刻を設定します。前面パネルの左右ボタンまたはマウスで時⇄分⇄秒を選択し、▲▼ボタンで数値を変更します。

[表示形式]

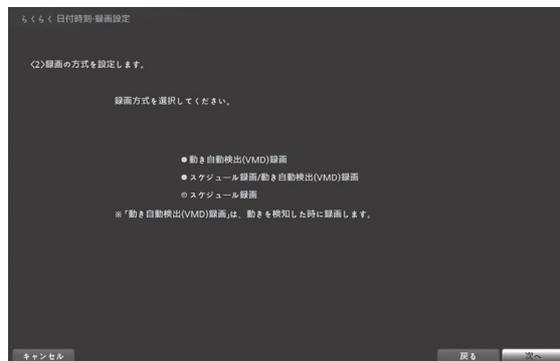
プルダウンリストから日付や時間の表示形式を選択します。

メモ

- 変更した日時設定は、[次へ] ボタンまたは [戻る] ボタンを押すことで反映されます。日時を変更せずに録画設定のみ行いたい場合は、日時を変更せずに [次へ] ボタンを押してください。

STEP4

録画の方式を設定します。



基本的な録画の方式を設定します。

3種類の録画方式から1つを選択します。

[動き自動検出 (VMD) 録画]

動き自動検出 (VMD) を使ったイベント録画だけを行います。

[スケジュール録画/動き自動検出 (VMD) 録画]

24時間のスケジュール録画に加えて、動き自動検出 (VMD) が発生したときはイベント録画を行います。

[スケジュール録画]

24時間のスケジュール録画だけを行います。

[次へ] ボタンを押します。

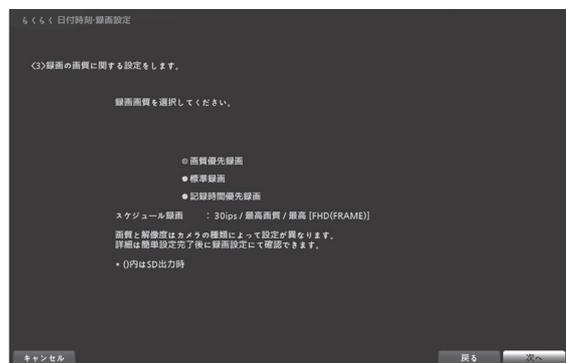
メモ

- 本画面で設定した録画関連の内容は、[録画] メニューの [スケジュール] タブの [簡単モード] の設定値として保存されます。本画面の選択内容自体は保存されませんので、本画面を表示する度に [スケジュール録画] が選択されている状態で表示されます。

4 必要最小限の設定を行う [簡単設定] (つづき)

STEP5

録画の画質に関する設定をします。



録画の画質を設定します。

3種類の録画画質から1つを選択します。

画質は [画質優先録画]、[標準録画]、[記録時間優先録画] の順番で画質が低下します。

高い画質を選択するほど、ハードディスクを消費するため、記録時間は短くなります。

設定されるカメラ毎の録画レート (ips)、画質、解像度は、「録画方式」と「録画画質」の設定の組み合わせによって以下の設定値になります。

録画方式	録画画質		
	画質優先録画	標準録画	記録時間優先録画
動き自動検出 (VMD) 録画	30 ips 最高画質 最高解像度	15 ips 高画質 最高解像度	5 ips 標準画質 高解像度
スケジュール録画 / 動き自動検出 (VMD) 録画	スケジュール録画 30 ips 最高画質 最高解像度	スケジュール録画 15 ips 高画質 最高解像度	スケジュール録画 5 ips 標準画質 高解像度
	動き自動検出 (VMD) 録画 30 ips 最高画質 最高解像度	動き自動検出 (VMD) 録画 30 ips 最高画質 最高解像度	動き自動検出 (VMD) 録画 15 ips 高画質 最高解像度
スケジュール録画	30 ips 最高画質 最高解像度	15 ips 高画質 最高解像度	5 ips 標準画質 高解像度

メモ

- 同じ画質でもカメラタイプ (HD、SD) で、ハードディスクの消費量が異なり、HDカメラはSDカメラより消費量が大きく、録画時間が短くなります。
- 同じ解像度でも、以下のようにカメラのタイプで値が異なります。

カメラのタイプ	HDカメラ	SDカメラ
解像度		
最高解像度	1920×1080 FHD	720×480 FRAME
高解像度	1280×720 HD	720×240 FIELD
標準解像度	720×480 FRAME	360×240 CIF

- 本画面で設定した録画関連の内容は、[録画] メニューの [スケジュール] タブの [簡単モード] の設定値として保存されます。本画面の選択内容自体は保存されませんので、本画面を表示する度に [画質優先録画] が選択されている状態で表示されます。

[次へ] ボタンを押すことで、[日付時刻の設定と基本的な録画設定の終了] 画面が表示されます。



録画設定を反映させるには、この画面で [完了] ボタンを押します。

引き続き [らくらくネットワーク設定] を行う場合は、[らくらくネットワーク設定へ] ボタンを押します。

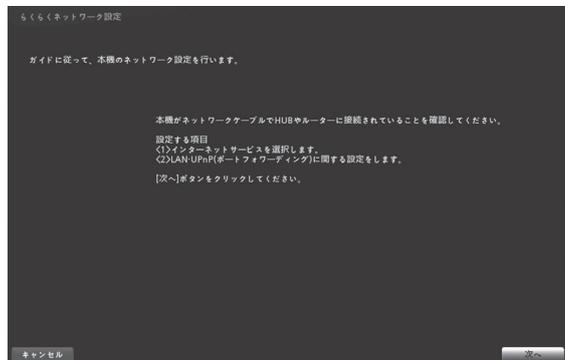
メモ

- この画面で [キャンセル] ボタンを押すと、録画設定は反映されません。録画設定は [完了] もしくは [らくらくネットワーク設定へ] ボタンを押したときに反映されます。

4 必要最小限の設定を行う [簡単設定] (つづき)

STEP6

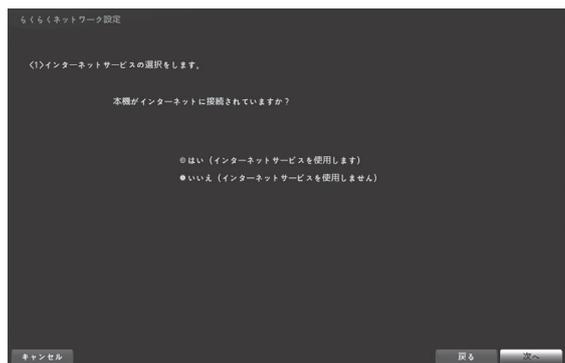
[らくらくネットワーク設定] では、ネットワークに関する設定を行います。



[次へ] ボタンを押します。

STEP7

インターネットサービスを選択します。



本機をインターネットに接続する場合

[はい (インターネットサービスを使用します)] を選択します。

本機をインターネットに接続しない場合

[いいえ (インターネットサービスを使用しません)] を選択します。

選択後、[次へ] ボタンを押します。

重要

- [はい (インターネットサービスを使用します)] を選択すると、UPnP機能を使用してUPnPルーターを設定します。この場合、本機は起動する度にUPnPルーターへの設定を行うため、本機の起動時はあらかじめUPnPルーターの電源を入れておいてください。

STEP8

LAN・UPnP (ポートフォワーディング) を設定します。

→STEP7で [はい (インターネットサービスを使用します)] を選択した場合、以下の画面が表示されます。



IPアドレスを自動で設定する場合

「自動設定」を選択し、[テスト] ボタンを押します。ネットワーク環境から自動的にIPアドレス・ゲートウェイ・サブネットマスク・DNS サーバーのアドレス等を取得します。

IPアドレスを手動で設定する場合

「手動設定」を選択し、必要なネットワーク設定を入力後、[テスト] ボタンを押して、ネットワーク環境の確認を行ってください。



メモ

- [テスト] ボタンを押したときに設定は反映されますが、そのネットワークが使用可能であることを確認できなければ (IP アドレスを取得できない、UPnP に対応したネットワーク機器が見つからないなど)、[次へ] ボタンを押すことができません。その場合は、ネットワーク環境を再度確認するか、[ネットワーク] - [LAN] タブで別途設定してください。

4 必要最小限の設定を行う [簡単設定] (つづき)

STEP7で [いいえ (インターネットサービスを使用しません)] を選択した場合、以下の画面が表示されます。



IPアドレスを自動で設定する場合

「自動設定」を選択して [テスト] ボタンを押します。ネットワーク環境から自動的にIPアドレス・ゲートウェイ・サブネットマスク・DNSサーバーのアドレス等を取得します。

IPアドレスを手動で設定する場合

「手動設定」を選択し、必要なネットワーク設定を入力後、[テスト] ボタンを押してネットワーク環境の確認を行ってください。



メモ

- [テスト] ボタンを押したときに設定は反映されますが、「自動設定」の場合、そのネットワークが使用可能であることを確認できなければ (IPアドレスを取得できないなど)、失敗した旨のエラーメッセージが表示されます。その場合、ネットワーク環境を再確認するか、[ネットワーク] - [LAN] タブ画面にて個別に設定してください。「手動設定」にてDNSサーバーを使用しない場合は、DNSサーバーに0.0.0.0を設定してください。

STEP9

[完了] ボタンを押します。

→設定が保存され、「システム」 - 「基本」タブの画面に戻ります。

[キャンセル] ボタンを押して設定メニュー画面に戻ります。

STEP10

設定メニュー画面のアイコン以外の場所を選択すると、ライブ監視モードになります。

→メインモニターにカメラ映像が表示され、本機で録画・再生できれば、運用を開始できます。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときまたは工事に関する内容のときは、お買い上げの販売店（設置工事店）にご相談ください。

また、パナソニックサポートウェブサイト（<https://sol.panasonic.biz/security/support>）のFAQ（よくあるご質問）も参照してください。

現象	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	●電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。	-
	●付属の電源コードが、本機に確実に差し込まれていますか？ 差し込まれているか、確認してください。	-
モニターにカメラ画像が表示されない	●カメラや接続機器の電源は入っていますか？ 電源が入っているか、確認してください。	-
	●ケーブルは正しく接続されていますか？ 正しく接続されているか、確認してください。	13~17
	●HDMIモニターによっては、正常に表示されないことがあります。 モニターの電源を入れ直して表示されるか、確認してください。	-
	●モニターの輝度調整、コントラスト調整は正しくされていますか？ 設定を確認してください。	-
	●ログインしているユーザーはカメラ画像を表示できるユーザー権限レベルになっていますか？ ログインしているユーザーのユーザー権限レベル設定を確認してください。	操作・設定編
●使用中のモニターを他のモニターに換える場合、使用中のモニターの解像度に非対応のモニターを接続すると、映像が表示されません。 この場合は本機の再起動が必要です。	-	
画面が欠けて表示される	●モニターの表示/領域のぼらつきによるもので、故障ではありません。	-
	●接続しているモニターで映像を自動で拡大表示にする機能が有効になっている場合、映している被写体によっては画面が欠けて表示される場合があります。	-
画像がぼやける	●カメラのレンズにゴミやほこりが付着していませんか？ カメラのレンズを確認してください。	-
ライブ映像が非常に明るい	●カメラが正しく映像入力コネクタ（BNC）に接続されていますか？ 接続されているか確認してください。	-
画面の上下左右両端のふちに黒い筋がある	●映像信号の規格上、カメラからの入力映像によっては、画面の上下左右に黒い筋が表示される場合があります。	-
カメラを制御できない	●制御しようとしているカメラがRS485端子に接続されていることを確認してください。	17
	●制御しようとしているカメラがコンピネーションカメラ（PTZカメラ）であることを確認してください。	-
HDMIモニターの音声にノイズが聞こえる	●接続するモニターの種類や音量設定によってはノイズが聞こえる場合があります。	-
設定を変更できない	●ログインしているユーザーは設定を変更できるユーザーレベルになっていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。	操作・設定編
	●スポットモニターを使用していませんか？ スポットモニターに設定メニューは表示できません。	11
モニターに表示されるカメラの画像、文字がぶれて見える	●映している被写体や接続しているHDMIモニターによっては、画像、文字がぶれて見えることがあります。機器仕様によるもので故障ではありません。	-

故障かな!?(つづき)

現象	原因・対策	参照ページ
アラーム動作しない	●後面にあるアラーム/コントロール端子に正しく信号が入力されていますか？	16
	●アラーム入力は正しく設定されていますか？	操作・設定編
「ディスク温度」のアラームが発生する	●使用温度範囲は+5℃～+40℃です。本機はHDDの内部温度情報と設定の[システム]-[システムイベント]-[ディスク温度]の温度設定値を元にアラームを発生させます。アラームが発生する場合は、HDD保護のために設置環境を見直し、周囲温度を+25℃程度とするようお勧めします。アラームが頻繁に発生する場合は、温度設定値を見直すか、販売店（設置工事店）にご相談ください。	基本編
	●ファンが故障していないか確認してください。	操作・設定編
	●本機の通風孔、放熱ファンをふさいでいないか、また、通風孔にほこりがたまっていないか確認してください。	8
時刻がずれる	●本機の時計精度は、月差±60秒です。正しい記録を残すためにも、定期的に時刻設定を行うか、NTPサーバーを使用して現在時刻がずれないようにシステム構成にしてください。	-
	●内蔵バックアップ電池が寿命でないか確認してください。内蔵バックアップ電池の寿命は約5年です。（寿命は使用条件によって短くなる場合があります）	-
録画を開始しない	●録画設定で上書きモードになっているか確認してください。	操作・設定編
	●スケジュール設定を確認してください。	操作・設定編
録画が止まる	●HDDの残容量はありますか？設定の[表示]-[OSD]タブで残容量の項目にチェックを入れると、HDDの残容量を確認できるようになります。残容量が少ない場合、録画映像を消去するか上書きモードに設定してください。	操作・設定編
画面に録画アイコンが表示されているが、録画されない	●イベント録画モードのとき、イベントが無い場合は橙色の🔥と🔴が表示されて録画されていません。イベントを検出して赤い🔥と🔴が表示されると録画しています。	操作・設定編
再生できない	●映像が録画されていますか？ディスク内に録画された映像があるか確認してください。	操作・設定編
検索を実施すると、録画されているカメラでも黒の静止画で表示される	●多画面で検索を実施すると、最初に見つかったカメラの静止画だけを表示します。再生操作をすることで黒画となったカメラの映像も正常に再生されます。	操作・設定編
多画面再生の速度がゆっくりとなる	●低速再生を選択しているか確認してください。	操作・設定編
	●本機へ過大な負荷がかかり処理量を超えている可能性があります。表示分割数を少なくするなど、処理負荷を軽減してください。	操作・設定編
ネットワーク経由で接続できない	●Ethernetケーブルが正しく接続されていることを確認してください。	15
	●本機とPCのネットワーク設定を確認してください。	操作・設定編
	●ブラウザでレコーダーにアクセスする際のポート番号が正しいことを確認してください。	操作・設定編
USBメモリーにデータをコピーできない	●FAT32でフォーマットされていますか？PCでUSBメモリーが使用できることを確認してください。	基本編
USBメモリーが認識されない	●マウス/コピーポートにほこりが付着していないか確認してください。	-
クリッププレイヤーアイコン  が正しく表示されない	●データサイズが大きい場合、PCのOSの制約によってアイコンが正しく表示されないことがあります。	-

故障かな!? (つづき)

現象	原因・対策	参照ページ
<p>ブラウザでアクセスしたときに、下記メッセージの情報バーが表示される</p> <p>「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください...」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可 (A) ...」を選択してください。このサイトのポップアップを許可しますか？画面が表示されますので、「はい (Y)」ボタンをクリックしてください。 	-
<p>ブラウザでイベント検索を実施すると、下記メッセージがポップアップ画面で表示される</p> <p>「There are more than 100 results. Click 'Query Next' button to display the next results.」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 検索結果が100件を超えているため、分割して表示しています。次を表示するには、「Query Next」ボタンを押してください。 	-
<p>ブラウザから録画映像や静止画をダウンロード・保存する場合、指定したフォルダーに保存できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 以下の手順でブラウザのセキュリティ設定を変更してください。 <ol style="list-style-type: none"> ①ブラウザの「ツール」⇒「インターネットオプション」⇒「セキュリティ」タブにある「信頼済みサイト」を選択し [サイト] ボタンをクリックする ②信頼済みサイト登録画面で、「このWebサイトをゾーンに追加する」に本機のIPアドレスを入力し、[追加] ボタンをクリックする ③信頼済みサイト登録画面で、「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする」のチェックを解除する 	-

電源コード・コネクター・電源プラグは、定期的に点検してください。

現象	原因・対策	参照ページ
<p>電源コードの被ふくが傷んでいる</p> <p>使用中、電源コード・コネクター・電源プラグの一部が熱い</p> <p>使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、温かくなったり、ぬるくなったりする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 電源コード・コネクター・電源プラグが傷んでいます。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店（設置工事店）に修理を依頼してください。 	-

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電 話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(☞25～27ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- **製品名** HDアナログディスクレコーダー
- **品 番** WJ-HL316
- **故障の状況** できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、映像や音*が出てこない。
- その他の異常・故障がある。



直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

※：音声対応していないモデルもあります。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バ ナ ハ ヨ イ ワ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話からのご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは https://biz.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号